

八尾市「イノベーション推進拠点におけるコンテンツ作成および企画業務」
受託候補者選定基準

1 選定方法

- (1) 審査対象となった提案について、提案書内容、経費見積価格を基に“提案点”並びに“価格点”を算出し、その合計点数として“評価点数”を算出し、委員の評価点数の平均点を“総合評価点”とする。
- (2) “評価点数”は100点を満点として、内訳は“提案点95点”、“価格点5点”とする。
- (3) 審査はプレゼンテーションの内容も踏まえて総合的に評価を行い、受託候補者を選定する。
- (4) “総合評価点”の同じ者が2者以上あるときは、“提案点”が高い者を、受託候補者として選定する。
- (5) 受託候補者の“総合評価点”が満点の6割に達しない場合、再募集とする。

2 評価基準

(1) 提案点

ア 点数配分：企画提案書及びプレゼンテーションの内容について採点を行うこととし、
点数配分は以下のとおりとする。

項目	評価の視点	配点	備考
(A) 業務実績等			
類似業務実績	・子どもを対象としたワークショップ等のコンテンツ企画開発から開催・運営までの業務実績があるか。	5点	様式4
(B) 業務執行体制及びスケジュール			
業務執行体制	・本事業に必要とされる十分な人員配置がなされており、専門知識や実績を有している人員を配置しているか。	5点	様式5-1
業務スケジュール	・提案内容に沿った最適なスケジュールが提案できているか。	5点	様式5-2
(C) 提案の内容			
ワークショップ等のコンテンツ企画・開発	・市内企業の経営資源や強みを生かしたもののづくりの魅力を伝えるワークショップ等の企画・開発となっているか。 ・集客予測にあわせて、平日や土日、時間帯などターゲット層を十分考慮した内容のものとなっているか。	20点	様式6-1

ワークショップ等の運営手法	運営に必要なボランティアスタッフなどの人員確保の方法や運営手法（安全確保等）に触れているか。	10点	様式6-2
コンテンツ開発を行う企業内の人材育成	・受託候補者だけで開発を進めるのではなく、次期以降は市内企業が自社でも開発できるように人材育成も視野に入れた開発手法となっているか。	10点	様式6-3
プログラムの構成・監修	・土日祝日を中心としたワークショップの開催日におけるプログラム構成や監修について工夫があるか。 ・平日のプログラムの構成・監修も含まれているか。	10点	様式6-4
オープニングイベントの開催	・これまでのノウハウが活かされ、企画案に独自性、創造性があるか。	10点	様式6-5
周知募集活動ならびに広報戦略	・施設利用者増加のため、事業の魅力や意義が伝わる効果的なコンテンツPRができるものとなっているか。 ・SNSにて広報活動を行うとともに、事業PRのために積極的にテレビや雑誌、新聞、Web等の主要メディアを積極的に活用して周知できるものとなっているか。	15点	様式6-6
進捗管理の手法について	・ワークショップや交渉内容を含め、書類、音声及び画像等を活用しながら事業に関する進捗管理や蓄積されたノウハウが記録・保持できるものとなっているか。 ・定例及び随時のミーティングの開催することによる月次での進捗報告及び課題の共有、本業務における重要事項の検討ができるものとなっているか。	5点	様式6-7
合計		95点	

イ 採点の目安

採点の目安は、以下のとおり5段階で配点し、絶対評価で採点を行う。

非常に優れている	優れている	標準である	劣っている	非常に劣っている
5	4	3	2	1

ウ 上記（ア）の項目のうち、1項目でも提案がない項目があれば、すべての項目の評価を行わない。

(2) 価格点

ア 算出方法

様式 8 により評価を行う。経費見積価格の価格点の評価は、5 点を限度とする。実施要領に示す委託料上限額と同額の場合を 0 点とし、その値から 5 % 下がるごとに 1 点加点し、採点する。75%以下の経費見積価格は、すべて 5 点とする。

イ 留意点

委託料上限額を超える経費見積価格を提出した者は評価を行わない。

3 審査結果の通知

審査結果は、以下の期日までに電子メール及び郵送にて通知する。

- ・通知 平成 30 年 4 月下旬まで